



# もう殺すな! 即時停戦を!! パレスチナに自由を! イスラエルの蛮行に怒りのうねり、世界に広がる

(写真①)パレスチナ自治区ヨルダン川西岸地区の都市ラマッラーに集結し、抗議の声を上げるパレスチナの人々

(写真②)ミサイルによる爆破で亡くなった遺体を前に嘆く女性

(写真③)瓦礫の中、泣き崩れるガザの少年

「もうたくさんだ!」「もう殺すな!」と訴える無数の人々の怒りが世界中で爆発している。一方的な侵略と虐殺、欧米の欺瞞繰り返す対テロ戦争と資本主義の危機のサイクル…。パレスチナ連帯という形で巻き起こるこの地球規模の反乱は、武器や金融で世界を支配してきた1%の連中にに対する、99%の民衆の怒りの現れだ。ガザの子どもに何の罪があるのか。ただそこに生まれたというだけで、人を殺さなければいけないイスラエルの若者に違う人生はなかつたのか。なぜウクライナの停戦もなしに、気候危機という大問題にも対処せずに、次の戦争を平氣で起こすのか。もうたくさんだ!

イスラエルの虐殺を今すぐ止めさせ、停戦するよう、あらゆる政府機関に圧力をかけよう!もう一つの世界を求める、世界的闘いに私たちも加わろう!戦地から避難する人々を温かく迎え入れ、共に生きる準備をしよう!

10月25日 鴻上薫(本紙編集委員)

## 対テロ治安強化には屈しない——アラブ・中東

ヨルダン川西岸地区では、曖昧な態度を取るパレスチナ自治政府のアッバース議長への怒りも爆発し、命がけで人々が虐殺に抗議している

(写真①)ガザでも多くの人々が「私たちはハマスではない。ただ平和に生きたい」と訴えている(写真②、③)。

停戦決議を拒否した米国だが、国内では矛盾が噴出しその支配はもう譲魔化されないと感じて抗議している

イスラエル支援企業として有名高いスター・バックスも、足下の若き労働組合に追い込まれ焦りが見える。組合員たちが立ち上がり、連日、大規模な抗議が勃発。ニュージニアでは労働組合が行動を主導している(写真⑩)。

イスラエル連帯の声明を発表したため、会社は組合がテロを支持しているなどと難癖をつけ訴訟する始末(写真⑪)。

アラブ地域ではかつてないほどに揺らいでいる大学では様々な地域にルーツを持つ学生たちが立ち上がり学内を占拠している(写真④)。ユダヤ系の人々も議員会館を占拠して停戦を訴え、300人の逮捕者を出す事態となっている(写真⑤)。

## パレスチナは、今——

イスラエルに隣接するエジプトの首都カイロでは、戦争が広まるごとにへの危機感

が広まっている。イスラエル連帯を表明した米スタバの組合員

がストライキを繰り返すだけでなく、パレスチナ連帯の支援を表明した猫でも散発的にデモが起き、警察との衝突が繰り返されている。

週末のロンドンでは10万人が街へ繰り出し停戦を訴えた(写真⑧)。今ではパレスチナ支持デモを警察が禁止していたが、労働組合らの街頭行動で「ついにデモを許可するに至った」。

国防相がイスラエル全面支援を表明した猫でも散発的にデモが起き、警察との衝突が繰り返されている。

タイ・バンコクではムスリムの人々が中心となり、「私たちに何ができる自由のために闘うことほかないのか」と訴え、ガザへ侵攻しないようイスラエル大使館に抗議した(写真⑨)。

ハマスの襲撃によりタイ人が30人以上死傷している

000人を含む8000人が命を奪われる紛れもない大虐殺で、なぜ世界は止められないのか。

「大虐殺やめろ!」「ジェノサイドやめろ!など怒りのコールが響いた。

日本がなぜ人道的休戦決議に棄権したのか。賛成できない理由はひとつもない。まさにこれを恥すべき自公政権の醜悪な姿だ。

アラブ諸国が主導した同決議は全当事者に最大限の自制とガザへの人道的支援を「継続的に妨げることなく行うこと」人質を即時解放するよう求めた。

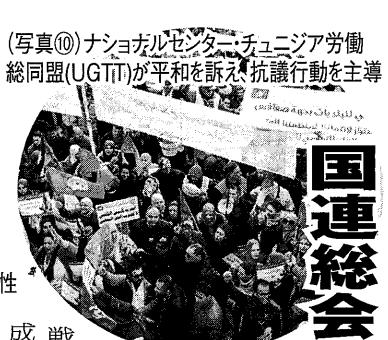
アラブ諸国が主導した同決議は全当事者に最大限の自制とガザへの人道的支援を「継続的に妨げることなく行うこと」人質を即時解放するよう求めた。

アラブ諸国が主導した同決議は全当事者に最大限の自制とガザへの人道的支援を「継続的に妨げることなく行うこと」人質を即時解放するよう求めた。

## 「虐殺やめる」ダイ・イン 在日イスラエル大使館前で



(写真⑪)空爆という大虐殺をやめろ!~イスラエル大使館前で150人がダイ・イン



**賛成121カ国こそ世界の大勢!**  
**米国反対、日・独・仏…棄権の卑劣さ**

日本は27日、パレスチナ衝突での「人道的休戦」決議を121カ国の賛成で採択した。

日本は27日、パレスチナのマンスール

国連代表は、「戦争を止めなければ」というメッセージを発したと採択を歓迎したが、虐殺実行の当事者イスラエル大使は反発。

ハマス壊滅までの軍事作戦を続けるとの好戦的姿勢を崩さない。

日本がなぜ人道的休戦決議に棄権したのか。賛成できぬ理由はひとつもない。まさにこれを恥すべき自公政権の醜悪な姿だ。



# 犠牲者は誰だ？ナクバを不問にする歐米

## 「国際社会」、繰り返すイスラエル 松元保昭

【パレスチナ連帯・札幌】

【編集部注】パレスチナ問題の発端、その根本を理解するには、ここに至る歴史を見なければならぬ。そのため、「根本的原因は75年前からのイスラエルのパレスチナ人に対するナクバ（破局・大災厄）から始まる」と鋭く説く松元保昭さん連考を著者の「ご了解を得て紹介する。松元さんはパレスチナ連帯・札幌代表で、北の大地で長くこの問題に取り組んで来られた方である。紙面の都合上、編集部責任で中見出しをつけ論旨に触らない範囲で一部割愛させて頂きました。

攻撃する一般市民を殺害する大量無差別殺戮も危惧される。

エジプト・シリアが領土奪回をめざした1948年第4次中東戦争の翌日、キプロスの日)にあたる10月7日、全パレスチナの解放をめざすガザの抵抗組織ハマスがエンスや斐越えてイスラエル領内深くに1000人を超える戦闘員を送り込み、かつてない奇襲攻撃を成功させた。ハマスのガザ実効支配16年、ナクバ75年、たゞ敗北と被虐感積み重ねてきたパレスチナ人の反古領抵抗運動の意義決した反撃は世界に衝撃を与えた。イスラエルのガザ「報復」は翌日のほじま

り、陸海空三軍の「天井のない監獄」、世界一人口密集のガザ地帯に触らぬ範囲で一部割愛させて頂きました。

## 今、始まつたことではない

そもそも戦後、イスラエルはまだ小さな軍事侵略による領土獲得・国家建設ばかり。ナクバは、イスラエル建国の習俗から始まる1948年5月15日第一次中東戦争開始の日)に当たるが、その前年にギリスが委任統治の國連に丸投げし米ソ連衆の不公平で違法な「国連分割協議」(1947年11月29日)直後から入植者のシオニスト民兵によるパレスチナ村落への武力襲撃が始つていた。テロ組織イルランやショナルによる1948年4月の「日テル・ヤーリンの虐殺」(60人)など、建国以前の虐殺を「ナクバ(大災厄)・シェ・サイド」の始まりであった。

5月14日の夜あわてて独裁者袁も果たしたのが「イスラエル建国」である。その戦争で80万人のパレスチナ難民が生み出されたが、翌49年には国境も定まらないイスラエルが「平和友好国家」として国連に迎えられる。世界人権宣言は国連憲章でスタートしたかにみる国際社会は、このペレスチナ人大虐殺のナクバを不問にして始まったわけだ。75年後の今日まで。

### まやかしに終わった「オスロ合意」

#### 人類は座つぶちに一問われる国連・国際社会

このたびの奇襲攻撃を「バイデンは『まきれもない邪魔』など、まさに戻の所業で断罪した」。

ネタニヤフは「アラブを野獣なケダモノ」と罵倒した。

「アラブを野獣化する」とは、アラブを罵倒する言葉だ。

「アラブを野獣化する」とは、アラブを罵倒する言葉だ。

「アラブを野獣化する」とは、アラブを罵倒する言葉だ。

### ハマスの奇襲「アル・アクサ嵐作戦」の理由

今回の奇襲作戦をハマスは「アル・アクサ嵐作戦」と名付けた。また、シャロンが2000年にハラム・アッシャリーフ(神殿の丘)に侵入し第2次インティファーダのきっかけを作つた。

その後、オスロ合意の反故を確立なものにしてイスラエルは、治安部隊を送り込み3年ほど前からイスラームのテル・アクサ・モスクで狼藉を働いていた。

こじの4月にはイスラエル治安部隊が捕獲してたパレスチナ人450人を拘束した。シオニスト右派がなれ込んだ金曜日の聖職ハラム・アッシャリーフは危険な場所にまでなってい。

ハマス報道のハーレード・カドミー語つて、「われわれは国際社会に対し、われわれの聖地アル・アクサのむづの殘虐行為止め

てほしい」と願つてゐるが、なぜ今回戦を始めた理由のすべてだ。

一方で、イスラエル教右派は強固な第三種殿建設と神殿の丘改修計画をもつておいて、その時候が近年ますますあらわになってい。

それは同時にシオニスト超正統派が捕つてたシナイ半島からチグリス・ユーフラテス川までの「エル・イイスラエル」を反ユダヤ主義組織のレバティルで攻撃する。

もともと中東の植民地主義的な構築を築いたした米英欧など西側(創世記12: 15-28-35章)をめざす「大イスラエル主義」にむけ付けていた。

シオニズムの「土地の征収」という領土拡大の欲動は、エルサレム首都宣言に固執する所までなつた。イスラエルの過激な反対は、イスラエルの増大する所になつた。

教徒の抵抗を呼び起すかも知れぬ。

### アイヌ・在日朝鮮人・沖縄と共通の根

千歳アイヌに由来する(→のへやへやーーー)ヒトカラアイヌ伝承書かいた。

アイヌ語をも始めた彼女の晩年(約100年前の1900年)に、ナクバを彷彿とさせる語を「百鬼」も偶然隠してもらつた。

パレスチナのナクバのよほど知らぬ、彼女が「むかね」の千歳川から石狩川まで何千軒ものチセ(アイヌの家)が「せん」に焼かれたの…。

おじいひなは彼女自身が直撃されたのではないか時代的「庄絶された遺傳を伝承しし古老が亡くなるのである。

遺傳を伝承しし古老が亡くなるのである。

しかば「滅びの民」即ち人を殺されて死ぬが闘つて謝罪をしな。

その後の同化政策から今日に至る偏見差別をまだ日本人と日本国は謝罪をしない。

日本戦争開戦前の甲午農民戦争(1895年)から柯里ア・シエノサイドは、1910年の三・独り運動(1910年)、1900年、1900年前の関東大震災、朝鮮人虐殺が猖獗を極めた。

この明治の國家犯罪と民間犯罪をいまどき日本国家は謝罪も調査もせず政権も知らないんだぞして在日朝鮮人の学校を差別して平然としている。

このあとイスラエル解体の「出」戦略は是非 Peter Cohen(ジョンソン)とのないペレスチナ紛争の根因、それをどう止める(Huffington Post)とローランを武器としたが、1967年の第三次中東戦争(六日戦争)で唯一植民国家イスラエルを撃滅した。

ホンダ(吉田茂)と交渉して天皇に口頭では、1947年10月14日

### パレスチナ人解放の斬新で

#### 非暴力的な思考が重要

いのちじいの尊厳と人権、正義と平和の課題は、各国家固有の宿題抱えてる。あきらめだ大勢の人々は方針やその悲劇を聽いて、これまでの歴史のように絶頂のない軍事的パワーゲームでは済まない。これが、ハマスをテロ組織へ組織と指定(2006年)によって「国家の威儀」は、ペレ

イスラエルの問題を国連と国際社会がどのように解決するか。アラブ人の抵抗運動を弾圧する口実が出来るのである。

これまでの歴史のように絶頂のない軍事的パワーゲームでは済まない。これが、ハマスをテロ組織へ組織と指定する人々を犠牲者のまま打ち捨てる黙つて殺されるか闘つて死ぬが、どちらかがいいペレ

イスラエル…。

イスラエルは道徳的でロココーストを5年間裏戻してきた。

もはや絶対間のない好戦的な暴力に生きるイスラエルが自らの変革を望めない以上、そこで欧州側(世界メディアのイスラエル支援が終わらぬ)以上、ペレスチナ問題に立ち戻るヒーベンの提案が思い浮かぶ。

「戦争が人類を終わらせるか、人類が戦争を終わらせるか(アスカ・ペレ)

打うち捨てる黙つて殺されるか闘つて死ぬが、どちらかがいいペレ

イスラエル…。

天皇などじう「隠匿化」の象徴で、ついに「歴史を隠匿化」日本人の夜郎自大な根性に深根付いてしまったもの。政策が上がらぬやあたが戦争の犠牲者に晒されそうだ。

日本によつてきてくる犠牲者に晒されそうだ。

ヤマト・チャーニーによつてたたが戦争の前線に立たれそぞうとしている。

さうじ一九八〇年のサウジ・アラビア・シャーディーの虐殺(民衆蜂起が燃え盛り、第一次インティファーダがひいて爆発するなかで、一九八一年に庄倒的武力の差、は等の姿はありえない、イスラエルのサポーターに庄倒的武力の差、は等の姿はありえない、イスラエルのサポーターに庄倒的武力の差、は等の姿はありえない、イスラエルを認めた国際社会の責任をも免罪したことを認めた。

イスラエルを認めた国際社会の責任をも免罪したことを認めた。

これが、ハマスをテロ組織へ組織と指定する人々を犠牲者のま

打うち捨てる黙つて殺されるか闘つて死ぬが、どちらかがいいペレ

イスラエル…。

大野和興（農業ジャーナリスト）

■本稿は7月2日のくゲノム問題研究会・シンポジウムでの発題を基に構成

# 食が「国家」に取り込まれる

# 食料安保の罷民（2）

世界的視座で農と食の問題を追い続ける、わが国農業ジャーナリスト第一人者の大野和興さん。同氏の農業と食料問題に関する最新提言が前号に掲げた5つのテーマを基にした論考だ。同氏の食に関する問題の在り所を共有すべく、連載でお伝えする。【コモンズ編集部】

ついで離農する人が増えている。これはほんの一例です。それで何が起こっているかと逆の現実に突き立たります。

政府は食料安保と絡めて、国民の食料を絶対にきちんと届けるために自給も増やすなければならぬ当たりのことを言っていますが、そういう事実はあつまつもない。

各地でいま一畝の田んぼの広さが1haを超える大区画にして、それを地域全体に広げる大区画整理事業が進んでいます。

平野部の水田農業地帯だけではなくて中山間地域も同じです。

1ヘクタールといえども0mかかる100mですからね。

でも、それを超えるかと超えて水田が生まれてみる。

これが現場では効率化一辺倒が進んでいる現場では効率化一辺倒が進んでいる

いま村を歩くと、いま東京でやられている農業論議とは逆の現実に突き立たります。

政府は食料安保と絡めて、

国民の食料を絶対にきちんと届けるために自給も増やすなければならぬ

ければならぬ当たりのことを

言っていますが、そういう

事実はあつまつもない。

各地でいま一畝の田んぼの

広さが1haを超える大区画

にして、それを地域全体に広

げる大区画整理事業が進んで

います。

いま村を歩くと、いま東京でやられている農業論議とは逆の現実に突き立たります。

政府は食料安保と絡めて、

国民の食料を絶対にきちんと届けるために自給も増やすなければならぬ

ければならぬ

当たりのことを

言っていますが、そういう

事実はあつまつもない。

各地でいま一畝の田んぼの

広さが1haを超える大区画

にして、それを地域全体に広

げる大区画整理事業が進んで

います。

いま村を歩くと、いま東京でやられている農業論議とは逆の現実に突き立たります。

政府は食料安保と絡めて、

国民の食料を絶対にきちんと届けるために自給も増やすなければならぬ

ければならぬ

当たりのことを

言っていますが、そういう

事実はあつまつもない。

各地でいま一畝の田んぼの

広さが1haを超える大区画

にして、それを地域全体に広

げる大区画整理事業が進んで

います。

いま村を歩くと、いま東京でやられている農業論議とは逆の現実に突き立たります。

政府は食料安保と絡めて、

国民の食料を絶対にきちんと届けるために自給も増やすなければならぬ

ければならぬ

当たりのことを

言っていますが、そういう

事実はあつまつもない。

各地でいま一畝の田んぼの

広さが1haを超える大区画

にして、それを地域全体に広

げる大区画整理事業が進んで

います。

いま村を歩くと、いま東京でやられている農業論議とは逆の現実に突き立たります。

政府は食料安保と絡めて、

国民の食料を絶対にきちんと届けるために自給も増やすなければならぬ

ければならぬ

当たりのことを

言っていますが、そういう

事実はあつまつもない。

各地でいま一畝の田んぼの

広さが1haを超える大区画

にして、それを地域全体に広

げる大区画整理事業が進んで

います。

いま村を歩くと、いま東京でやられている農業論議とは逆の現実に突き立たります。

政府は食料安保と絡めて、

国民の食料を絶対にきちんと届けるために自給も増やすなければならぬ

ければならぬ

当たりのことを

言っていますが、そういう

事実はあつまつもない。

各地でいま一畝の田んぼの

広さが1haを超える大区画

にして、それを地域全体に広

げる大区画整理事業が進んで

います。

いま村を歩くと、いま東京でやられている農業論議とは逆の現実に突き立たります。

政府は食料安保と絡めて、

国民の食料を絶対にきちんと届けるために自給も増やすなければならぬ

ければならぬ

当たりのことを

言っていますが、そういう

事実はあつまつもない。

各地でいま一畝の田んぼの

広さが1haを超える大区画

にして、それを地域全体に広

げる大区画整理事業が進んで

います。

いま村を歩くと、いま東京でやられている農業論議とは逆の現実に突き立たります。

政府は食料安保と絡めて、

国民の食料を絶対にきちんと届けるために自給も増やすなければならぬ

ければならぬ

当たりのことを

言っていますが、そういう

事実はあつまつもない。

各地でいま一畝の田んぼの

広さが1haを超える大区画

にして、それを地域全体に広

げる大区画整理事業が進んで

います。

いま村を歩くと、いま東京でやられている農業論議とは逆の現実に突き立たります。

政府は食料安保と絡めて、

国民の食料を絶対にきちんと届けるために自給も増やすなければならぬ

ければならぬ

当たりのことを

言っていますが、そういう

事実はあつまつもない。

各地でいま一畝の田んぼの

広さが1haを超える大区画

にして、それを地域全体に広

げる大区画整理事業が進んで

います。

いま村を歩くと、いま東京でやられている農業論議とは逆の現実に突き立たります。

政府は食料安保と絡めて、

国民の食料を絶対にきちんと届けるために自給も増やすなければならぬ

ければならぬ

当たりのことを

言っていますが、そういう

事実はあつまつもない。

各地でいま一畝の田んぼの

広さが1haを超える大区画

にして、それを地域全体に広

げる大区画整理事業が進んで

います。

いま村を歩くと、いま東京でやられている農業論議とは逆の現実に突き立たります。

政府は食料安保と絡めて、

国民の食料を絶対にきちんと届けるために自給も増やすなければならぬ

ければならぬ

当たりのことを

言っていますが、そういう

事実はあつまつもない。

各地でいま一畝の田んぼの

広さが1haを超える大区画

にして、それを地域全体に広

げる大区画整理事業が進んで

います。

いま村を歩くと、いま東京でやられている農業論議とは逆の現実に突き立たります。

政府は食料安保と絡めて、

国民の食料を絶対にきちんと届けるために自給も増やすなければならぬ

ければならぬ

当たりのことを

言っていますが、そういう

事実はあつまつもない。

各地でいま一畝の田んぼの

広さが1haを超える大区画

にして、それを地域全体に広

げる大区画整理事業が進んで

います。

いま村を歩くと、いま東京でやられている農業論議とは逆の現実に突き立たります。

政府は食料安保と絡めて、

国民の食料を絶対にきちんと届けるために自給も増やすなければならぬ

ければならぬ

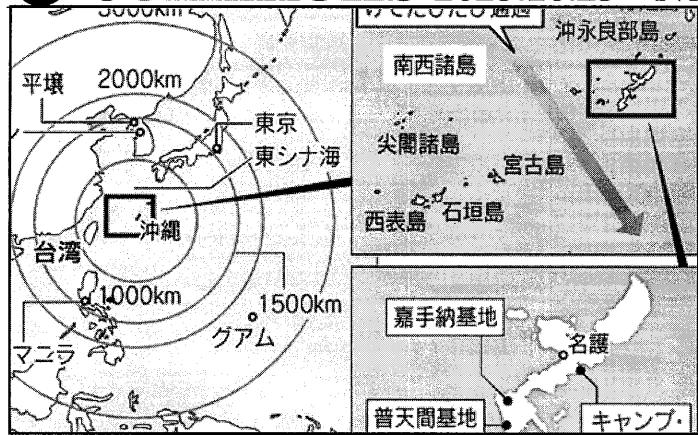
当たりのことを

言っていますが、そういう

事実はあつまつもない。

各地でいま一畝の田んぼの

広さが1haを超える大区画



# 「反撃力が日本全国を戦場化する。沖縄・南西諸島・全国を戦場にしてはならない」

第14期沖縄意見広告運動—6・11報告集会「特別講演」より 第2回



伊波洋一(参議院議員/沖縄意見広告運動全国事務人)

## 5.CSISレポート

被書を受け、米国も長年にわたり「グローバル・ポジション(世界的な地位)」を損なう、米国の再建は中国よりも遅くなるとされています。

日本、沖縄など南西諸島や、台湾など住民の犠牲、死傷者については、言及されていません。

ウクライナでも同様ですが、米国はもはや、核保有国と直接戦争をしません。

日米2+2が1月11日、岸田・バイデン会談が1月13日ですが、それに先立つ1月9日、米国のシンクタンク戦略国際問題研究所のレポート、「The First Battle of the Next War(次の戦争の最初の戦い)」が公開されました。

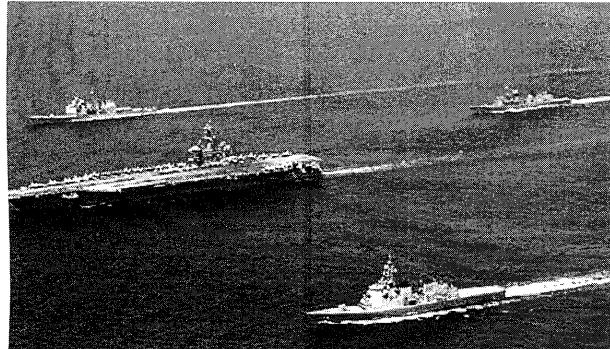
2026年に中国が台湾に着上陸攻撃をするというレポートです。

結果は米国(台湾・日本連合)によって、辛くも中国軍による台湾侵攻は撃退されました。ウォーゲームを実施し、分析したレポートです。

台湾は経済的にも大きな



石垣島までオスプレイが飛び回る



朝鮮を軍事威嚇する日米両海軍

## 9.10.沖縄の島々を含む、南西諸島の軍事要塞化

2015年に「日米防衛協力のための指針(新ガイドライン)」が改訂されました。1997年の旧ガイドラインでは、日本に対する航空侵攻、海上作戦、着上陸侵攻、弾道ミサイル攻撃すべてに、米軍が「打撃力」をもって戦うことになっていました。しかし、これが2015年の新ガイドラインでは、弾道ミサイ

2015年に「日米防衛協

力のための指針(新ガイドラ

イン)」が改訂されました。

1997年の旧ガイドラ

インでは、日本に対する航空

侵攻、海上作戦、着上陸侵攻、

弾道ミサイル攻撃すべてに、

米軍が「打撃力」をもって戦

うことになっていました。

しかし、これが2015年の新

ガイドラインでは、弾道ミサ

イー攻撃にも米軍は「支援」

補完する作戦」しか実施しま

せん。

唯一、「領域横断的な作

戦、陸海空宇宙サイバーな

ども全面戦争でしか、米軍は

打撃力を使用しません。

そこで、「日本独自」の敵基地

攻撃能力」を保有しなけれ

ば、「ひい議論が出てきたわ

けです。

この中日との関係をすべて失つてもいいのか、考えるべきです。

中国と軍事的に対立する

といふことは、経済的にも大

きな損害を覚悟しなければ

至ります。

日本政府、岸田政権の世界

観は、米国・西側主導国だけ

を見ています。

米国一辺倒でした。(アハ)

### ■前号までの論考項目

- 【1.はじめに】日本国憲法下の防衛政策は、専守防衛に徹し、日本の領域に対する攻撃があったときに、これを自衛隊で排除するというものでした。【2.岸田軍拡は、「戦争ができる國づくり」を完成させる】【3.米国の対中国戦略の変遷】●エアシー・バトル構想○「アメリカ流非対称戦争」●「オフショア・コントロール戦略」●「オフショア・コントロール戦略」【4.防衛研究所幹部は長期戦を提言】



台湾は経済的にも大きな

合意によって、辛くも中国軍

による台湾侵攻は撃退され

ます。

しかし、台湾軍は壊滅、米

軍は、空母2隻を含む何十隻

もの艦船、数百機の航空機を

失い、日本の自衛隊も多数の

艦船・日本列島全体の飛行

場が空襲されます。

台湾は経済的にも大きな

合意によって、辛くも中国軍

による台湾侵攻は撃退され

ます。

しかし、台湾軍は壊滅、米

軍は、空母2隻を含む何十隻

もの艦船、数百機の航空機を

失い、日本の自衛隊も多数の

艦船・日本列島全体の飛行

場が空襲されます。

台湾は経済的にも大きな

合意によって、辛くも中国軍

による台湾侵攻は撃退され

ます。

しかし、台湾軍は壊滅、米

軍は、空母2隻を含む何十隻

もの艦船、数百機の航空機を

失い、日本の自衛隊も多数の

艦船・日本列島全体の飛行

場が空襲されます。

台湾は経済的にも大きな

合意によって、辛くも中国軍

による台湾侵攻は撃退され

ます。

しかし、台湾軍は壊滅、米

軍は、空母2隻を含む何十隻

もの艦船、数百機の航空機を

失い、日本の自衛隊も多数の

艦船・日本列島全体の飛行

場が空襲されます。

台湾は経済的にも大きな

合意によって、辛くも中国軍

による台湾侵攻は撃退され

ます。

しかし、台湾軍は壊滅、米

軍は、空母2隻を含む何十隻

もの艦船、数百機の航空機を

失い、日本の自衛隊も多数の

艦船・日本列島全体の飛行

場が空襲されます。

台湾は経済的にも大きな

合意によって、辛くも中国軍

による台湾侵攻は撃退され

ます。

しかし、台湾軍は壊滅、米

軍は、空母2隻を含む何十隻

もの艦船、数百機の航空機を

失い、日本の自衛隊も多数の

艦船・日本列島全体の飛行

場が空襲されます。

台湾は経済的にも大きな

合意によって、辛くも中国軍

による台湾侵攻は撃退され

ます。

しかし、台湾軍は壊滅、米

軍は、空母2隻を含む何十隻

もの艦船、数百機の航空機を

失い、日本の自衛隊も多数の

艦船・日本列島全体の飛行

場が空襲されます。

台湾は経済的にも大きな

合意によって、辛くも中国軍

による台湾侵攻は撃退され

ます。

しかし、台湾軍は壊滅、米

軍は、空母2隻を含む何十隻

もの艦船、数百機の航空機を

失い、日本の自衛隊も多数の

艦船・日本列島全体の飛行

場が空襲されます。

台湾は経済的にも大きな

合意によって、辛くも中国軍

による台湾侵攻は撃退され

ます。

しかし、台湾軍は壊滅、米

軍は、空母2隻を含む何十隻

もの艦船、数百機の航空機を

失い、日本の自衛隊も多数の

艦船・日本列島全体の飛行

場が空襲されます。

台湾は経済的にも大きな

合意によって、辛くも中国軍

による台湾侵攻は撃退され

ます。

しかし、台湾軍は壊滅、米

軍は、空母2隻を含む何十隻

もの艦船、数百機の航空機を

失い、日本の自衛隊も多数の

艦船・日本列島全体の飛行

場が空襲されます。

台湾は経済的にも大きな

合意によって、辛くも中国軍

による台湾侵攻は撃退され

ます。

しかし、台湾軍は壊滅、米

軍は、空母2隻を含む何十隻

もの艦船、数百機の航空機を

失い、日本の自衛隊も多数の

艦船・日本列島全体の飛行

場が空襲されます。

台湾は経済的にも大きな

合意によって、辛くも中国軍

による台湾侵攻は撃退され

</

